

授業科目	卒業論文(梶原)				実務家教員担当科目	-					
単位	4.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年				
担当教員	梶原 浩介										
授業概要	専門研究での取り組みを基礎に各々が設定した研究テーマについて論文の執筆を行う。指導は専門研究の担当教員が行う。なお、卒業論文発表会を実施する。										
授業形態	演習他			授業 方法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>専門領域の研究プロセスを学び、その成果を卒業論文としてまとめることができる。</p> <p>専門領域の研究プロセスを学び、各自(各グループ)が設定したテーマに関して研究を深めることができる。</p> <p>その成果を卒業論文としてまとめ、発表することができる。</p>										
理想的 レベル	専門領域の研究プロセスを学び、これまでの研究成果を踏まえた上で、自らの論文テーマを設定し、適切な研究方法を実践し、独創性のある卒業論文として成果をまとめ、発表することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)	30%										
レポート外の提出物	70%				卒業論文						
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリン グ	WE31703J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
個人あるいはグループで、設定したテーマに関して研究し、その成果を論文としてまとめる。										4	
授業計画											
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業論文の履修者は4年次に履修登録を行う。なお、その際は事前に専門ゼミの担当教員に相談すること。</li> <li>指導は専門ゼミの担当教員が行う。必要に応じて副指導教員を依頼することができる。</li> <li>論文執筆の詳細については別途配布する「卒業論文作成の手引き」を参照すること。</li> <li>卒業論文発表会を実施する(2月中旬を予定)。</li> </ul> <p>※卒業論文の執筆は、個人でもグループでも構わない。</p>										
テキスト	担当教員より紹介する。										
参考図 書・教材	担当教員より紹介する。										

／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	担当教員より提示する。
学生への メッセー ジ・コメ ント	個人あるいはグループが設定したテーマに関連して調べた内容等について、振り返っておく。 卒業論文は大学4年間の集大成であり、論文を執筆するには研究領域・テーマに関する幅広い専門知識が必要となる。 日ごろの授業に加え、自主学習にも積極的に努める。